

# 朝 禱

## 朝 禱 会 綱 領

- ① 朝禱会は、イエスをキリストと信じるすべての人々に開かれた超教派の祈りの運動である。
- ② 朝禱会は、共にキリストの愛に生かされている者たちの一致を求め、福音の前進と、主にある平和を祈る。
- ③ 朝禱会は、御言葉に聴き、賛美を献げ、心を合わせて祈り、食卓を共にして交わりを深める。

父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちの内にいるようにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります。(ヨハネ17:21)

## 「キリストの平和」

コロナイの信徒への手紙3章15節

朝禱会関東ブロック大会

閉会礼拝メッセージ

日本基督教団 荻窪教会 牧師



小海 基

「また、キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。この平和にあずからせるために、あなたがたは招かれて一つの体とされたのです。いつも感謝していなさい」

この閉会礼拝説教はエキュメニカルな朝禱会にふさわしく、ハリストス正教会のデイトリー田中仁一司祭が担当されるはずでしたが、葬儀のために出来なくなれたのは残念なことでした。会の冒頭、田中司祭のメッセージを紹介された中で、大変印象的な言葉がありました。「聖神(聖霊のこと)の体合」(神の恵みは、朽ち過ぎ去っていく被造物によって現れ

るのでなく、神と一つになる、一体にされるといふことで現れるという意味)です。まさにコロナイ書のこの言葉と通じるではありませんか。

記念すべき第30回関東ブロック大会に「キリストの平和」がテーマとして掲げられたのは、私たちが住んでいるこの東アジアに、平和とはおおよそ正反対の緊張が高まっているからにほかなりません。こんな時、私たちが国境、人種、文化、歴史背景、教派も超えて、白井先生の講演によれば、「イサクの子孫ユダヤ人も、エサウの子孫イシュマエルも、わたしたち異邦人であったキリスト者も、キリストに招かれて一つとされてい

ること」が創世記の記述段階から明らかなのは、何という恵みでしょう。それも、私たちがこしらえる「平和」でなく、神のもとに、キリストのもとに「聖神の体合」することが許され、分かち難い一つのからだとされているというのは、この緊張の時代だからこそ重要なのではないのでしょうか。

「この時のためにこそ、あなたは今の立場にいるのではないか」(エステル4・14)と、モルデカイは王妃エステルに迫りました。神により、国境も人種も言葉も教派も超えて「一つとされている」はずの私たちがだからこそ、今の言葉が迫ってくるのではありませんか。

私は「新宿日韓朝禱会」からの参加です。この朝禱会は大久保の、比較的新しく韓国から来日した人たち(ニューカマー)を中心に生まれた教会で毎月持たれています。つい十数年前までのこの町は、暴力団が徘徊し、麻薬や

覚せい剤が白昼堂々と売られ、売買春が横行するといった所でした。それが2001年1月26日に新大久保駅ホームから落ちた日本人を助けようとして電車にはねられ死亡した韓国人留学生の事件、ワールドカップ日韓同時開催、KPOPやTV「冬のソナタ」を皮切りとした「韓流ブーム」で大きく変わっていききました。世界でもまれな、安全で多文化共生の大コリアンタウンとして生まれ変わったのです。

ところが政権交代によって、せっかくのその流れが一転します。安倍政権は閣議レベルで平和憲法の解釈改憲を可能とし、海外派兵、武器輸出、秘密保護法、辺野古基地工事、オスプレイ全国配備、TPP参加、原発再稼働を強行し、留まることが知りません。しかもこの政権交代をもたらした選挙は、半分近くの主権者が投票せずに起こってしまったのです。

こうした「熱狂なきファシズム」が蔓延すると並行して、大久保の町に2013年の夏頃から、毎日曜日ごとにヘイト・スピーチ、ヘイト・デモがかけられるようになりまし。大久保の町を形成していたニューカマーのキリスト者たちは、積極的に新しい日韓関係を築いて行こうという志に燃えた人たちでしたが、未来に絶望し、帰国してしまいました。私たちの朝禱会は、以前、礼拝出席が100名を超えた韓国語教会を会場に行っていますが、現在は10名を切って存亡の危機にあります。

「キリストの平和があるあなたがたの心を支配するようにしなさい」「この時のためにこそ」あなた「一つのからだとされ」「今の立場にいるのではないか」と聖書の言葉が私たちに迫っています。日本人キリスト者こそ熱く祈り、行動するよう迫ってきます。

# 誦友の皆様に 新年のご挨拶を申し上げます

朝誦会全国連合会長 山下佳弘

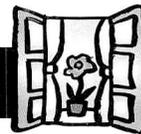


新しい年を迎え、各地の朝誦会、誦友の皆さま、教会からの昨年一年間のご厚情に感謝いたしますとともに、皆さまの上、神様の豊かなご祝福をお祈り申し上げます。

昨年、私は全国各地の朝誦会を訪ねる機会を与えられ、誦友の皆さまとお目にかかり、祈りを共にする幸いを得ました。全国連合が、皆様から多くの温かいお支えをいただいていることに心からの感謝を申し上げます。昨年、各地で大きな自然災害が多発しました。被害を受けられた方々のことを思い、一日も早い復興を祈っております。

今年の朝誦会年頭集會のみ言葉「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。(テサロニケ第一・15章16〜18節)」

このみ言葉のとおりに祈ります。4年目を迎える東日本大震災の被災地の方々のために、原発による放射能被害を受けておられる方々のために祈ります。また、休会中の朝誦会の再開のために、未設置県に新しい朝誦会が生まれるように、各地の朝誦会の継承のために祈ります。そして、日本と世界の平和のために祈ります。各地の朝誦会を、主が今年も祝してくださいませように。



## 全国大会の窓

第54回 朝誦会全国大会 オプショナルツアー

5月30日

### ウィリアム・メレル・ヴォーリズ 信仰の足跡を訪ねて

日露戦争さなかの明治38年、弱冠24歳のアメリカ青年ウィリアム・メレル・ヴォーリズが、極東の島国の片田舎、近江八幡の駅に立ちました。建築事業、製菓事業、医療事業、教育事業、伝道活動等、彼によって播かれた種が多くの実を結んでいます。彼の生涯や功績に思いを馳せ、是非、楽しみにご参加ください。

2015年

### 祈誦課題

1月14日発足記念日  
前後の一斉祈誦



- ◆教会一致のために
- ◆朝誦会の新設・再開のために
- ◆世界平和のために
- ◆各教団・地域教会が強められるために
- ◆東日本大震災ならびに、各地の自然災害被災復興のために
- ◆福島第一原子力発電所被害収束のために、神の知恵が与えられますように

## ひろば 「朝誦会、これからの課題」

朝誦会運動は、何をもたらしましたか。様々な出会いと誠実な交わりによって、新しい人間性、人間関係が生まれたように思います。

教会生活は、ある意味で、単調な傾向があり、外からの空気が入り難く、堅物で、融通が利かないとの批評も聞きます。そういった中で、朝誦会は、和らげる作用があると言えば、的外れでしょうか。教派、教団及び教会が異なることで、幅広い視野で話し合うことができ、互いに理解が深まります。より大きな課題と、祈りつつ取り組むことも可能になります。平和の問題、南北の経済格差、人種・人権問題、さらにイスラエルやヒンドウなど宗教関係にどう向き合うか重要課題と言えましょう。

毎年、各ブロック大会、全国連合の年頭集會、および全国大会が輪を広げ、大きな力となって励まし合い、各個朝誦会が継続、発展することを願っています。

さて、各個朝誦会は、58年目に3000回を迎えた大阪朝誦会を筆頭に、54年目の2800回松山朝誦会など、次々と2800回を超える朝誦会が増えてまいります。内容的にも転換期を迎えて、改変に迫られています。世話人の後継者を必要としています。「朝誦のしおり」(朝誦会便覧)が時機に合った作製をされましたが、これを用いて、開拓、再興を促進してまいりたいものがあります。

松山朝誦会世話人 鎌田 吉明